

# 少子化・人口減少に対応した 活力ある学校教育推進事業

■ 市町村名	: 岡谷市
■ 担当部署	: 教育総務課
■ 事業年度	: 平成28年度
■ 総事業費	: 1,580(千円)
うち国補助金	: 1,580(千円)

## モデル事業の名称

少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育推進事業

## 事業の目的・概要

近年、家庭及び地域社会における子どもの社会性育成機能の低下や少子化の進展が中長期的に継続することが見込まれること等を背景として、学校の小規模化に伴う教育上の諸課題がこれまで以上に顕在化することが懸念されている。このため、各市町村において、それぞれの地域の実情に応じ、教育的な観点から少子化に対応した活力ある学校づくりを積極的に検討する必要がある。

こうした状況を踏まえ、国の積極的な支援・協力の下、学校統合による魅力ある学校づくりのモデルを創出する調査研究を行い、その成果を広く普及させることにより、国における少子化に対応した小・中学校教育の高度化の取組を加速させることを目的とするものである。

このようななか、本市では、全国的にも事例の少ない学校敷地の安全性の問題に端を発し、市内小学校の内、3校を2校に統合する学校統合計画を策定した。この学校統合を契機に各校の優れた特色を活かしながら、地域に根ざした学校づくりを進めるために、地域との連携による「岡谷版コミュニティスクール」の創造、閉校する学校の伝統の継承と再構築、地域資源を活用した新しい教育スタイル“岡谷スタンダードカリキュラム”による「岡谷『ひと・もの・こと』教育」の構築と実践を図り、魅力と活力ある学校づくりを進める。

さらに、地域に根ざした岡谷ならではの教育を実践することで、ふるさと「岡谷」のよさを感じ、ふるさとを心から愛することのできる郷土愛豊かな子どもの育成につなげる。



【地域ボランティアによる登下校見守り】



【公開授業研究会の様子】

## 実施内容

- 岡谷市活力ある学校づくり推進会議の立ち上げ  
平成28年8月4日設置  
構成員：統合校の校長、教頭、統合企画教員、PTA、地域代表者等 計13人
- 活力ある学校づくり有識者会議の開催  
有識者による事業への助言、指導、意見交換
- 岡谷版コミュニティスクールの立ち上げ、推進  
・地域ボランティアによる学校支援体制の構築
- 新たな研究推進校の育成  
・統合校における公開授業研究会の実施
- 岡谷スタンダードカリキュラムの構築、実践  
・ものづくり体験学習の実施（ロボット学習など）  
・岡谷スタンダードカリキュラム冊子作成
- 学校統合に関するアンケート調査実施（児童、保護者）

## 事業効果

- ・岡谷版コミュニティスクールの立ち上げにより、地域ボランティア数が昨年度より増加し、地域ボランティアによる学校運営、学習支援体制の活性化が図られ、学校を核として地域との連携が強まった。
- ・公開授業研究会の実施では、学校統合後の児童の学びの姿を地域に公開し、学校が目指す学校づくりを保護者や地域の方々と一緒に考えることで、学校運営の活性化が図られた。
- ・岡谷スタンダードカリキュラムが構築され、統合校においてその実践研究が進められたことにより、児童と教員と地域が岡谷の「ひと・もの・こと」を通じて、ふるさと岡谷を愛する心の醸成につながった。

## 今後の展開

- ・岡谷スタンダードカリキュラムによる「岡谷『ひと・もの・こと』教育」の実践の推進や内容の充実を図るほか、学校を軸とした地域コミュニティとの連携・充実、閉校した学校の教育力を継承するための研究実践の蓄積を通じて、統合校のみならず、市内全校に魅力と活力ある学校づくりの実践拡大と定着化を図る。



【ものづくり・ロボットプログラミング学習の様子】